

令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する
調査結果(本県公立学校)

学校安全課

○調査対象学校数

公立小学校 352 校、公立中学校 158 校、県立高校 69 校、県立特別支援学校 16 校

1 暴力行為 [小・中学校(義務教育学校を含む)、高等学校(全日制・定時制・通信制)]

暴力行為の発生件数は 1,282 件で、前年度に比べ 319 件増加した。児童生徒 1,000 人あたりの発生件数は 7.1 件であった。

年度	R1	R2	R3
発生件数	1,324	963	1,282
1,000 人あたりの発生件数	7.1	5.3	7.1

2 いじめ [小・中学校(義務教育学校を含む)、高等学校(全日制・定時制・通信制)、特別支援学校]

(1) いじめの認知件数

いじめの認知件数は 5,065 件で、前年度に比べ 544 件増加しました。児童生徒 1,000 人あたりの認知件数は 27.6 件であった。

年度	R1	R2	R3
認知件数	5,876	4,521	5,065
1,000 人あたりの認知件数	31.1	24.3	27.6

(2) 「いじめの重大事態※」の発生件数(いじめ防止対策推進法第 28 条第 1 項)

「いじめの重大事態」の発生件数は、小・中学校で 12 件、高校・特別支援学校で 5 件であった。

※いじめにより児童生徒の生命心身等に重大な被害が生じた疑いがある事案、不登校の背景にいじめが疑われる事案。

年度	R1	R2	R3
小・中学校	18	8	12
高等学校・特別支援学校	4	5	5

3 不登校 [小・中学校(義務教育学校を含む)、高等学校(全日制・定時制)]

(1) 小・中学校

不登校児童生徒数は、小・中学校合わせて 4,188 人で、前年度に比べ 835 人増加し、不登校児童生徒の割合は 2.89%であった。

年度	R1	R2	R3
不登校児童生徒数	3,107	3,353	4,188
不登校児童生徒の割合 (%)	2.08	2.29	2.89

(2) 高等学校

不登校生徒数は、全日制・定時制課程合わせて 763 人で、前年度に比べ 156 人増加し、不登校生徒の割合は 2.19%であった。

年度	R1	R2	R3
不登校生徒数	694	607	763
不登校生徒の割合 (%)	1.90	1.70	2.19

4 中途退学 [高等学校(全日制・定時制・通信制)]

中途退学者数は、全日制・定時制・通信制課程合わせて 297 人で、前年度に比べ 27 人減少しました。中途退学者の割合は 0.83%であった。

年度	R1	R2	R3
中途退学者数	389	324	297
中途退学者の割合 (%)	1.04	0.88	0.83